別紙４（添付）

令和８年度第２回さぬき市総合計画審議会　会議結果

１　会議日時　　令和８年８月２５日（火）　１４：００　～　１６：００

２　会議場所　　さぬき市役所本庁３階３０２会議室

３　出 席 者　　［委　員］長山委員、三井委員、井上委員、大森委員、折原委員、
川田委員、新開委員、杉山委員、船井委員、芳竹委員、
米田委員
［事務局］向井審議監、総務部　多田（千）部長、
政策課　多田（和）課長、蓮井課長補佐、橋本係長
［委託事業者］（株）ぎょうせい
［傍聴人］　１人

４　議　　題　　（１）市民・中学生合同まちづくりワークショップ実施報告
（２）第３次総合計画骨子案について
（３）第２次総合計画後期基本計画の実績と第３次総合計画に向けての課題について

５　資　　料　　資料１　第３次さぬき市総合計画 市民・中学生合同まちづくりワークショップ報告書
資料２　さぬき市 高松大学生アンケート調査報告書
資料３　第３次さぬき市総合計画骨子案
資料４　第２次総合計画後期基本計画の実績評価
資料５　第２次さぬき市総合計画後期基本計画 基本施策別目標指標進捗状況調査結果一覧
次第、委員名簿

６　会議要旨

発言者	意見概要等
事務局	開会（14：00）
事務局	会議の原則公開について、ご了承願いたいと思いますがいかがでしょうか。 本日は傍聴者が１名いますので、入室をお願いします。 なお、会議中、傍聴の希望があった場合は、随時入室を許可することとします。
会長	挨拶 議事（１）市民・中学生合同まちづくりワークショップ実施報告書について、事務局から説明願いたい。
事務局	＜配付資料確認＞ まちづくりワークショップ報告書については、株式会社ぎょうせい

	から説明します。
（株）ぎょうせい担当者	＜資料１、２説明＞
会長	質問や意見等あれば、伺いたい。 ワークショップではグループごとに意見の傾向が異なり、特にＢグループとＣグループでは対照的な意見が出ており興味深かった。 「身の丈に合ったまちづくり」を求める意見から「より積極的な取組を」という意見まで幅があった。 対照的な意見としては「旧５町の差異を生かし、画一的にしないこと」に対し「集約しないと非効率ではないか」があった。 質疑については、後ほど関連する議論のタイミングで併せて行う。
会長	議事（２）第３次総合計画骨子案について事務局から説明をお願いする。
事務局	資料３をご覧ください。 第３次さぬき市総合計画骨子案は、目次の通り、前回の第１回会議で説明した序章に加え、基本構想及び前期基本計画の骨子を示しています。 本日は、基本構想における基本理念に基づいた「まちの将来像」について審議をお願いします。 骨子案の全体説明は、株式会社ぎょうせいから行います。
（株）ぎょうせい担当者	＜資料３説明＞
会長	15ページまでは前回示した内容のため、本日は省略する。必要があればその場で言及してほしい。 16～24ページはアンケート調査のまとめの要約版だ。25ページは、現在調整中とあるが、課題が掲載される。 26ページ以降は、第２次さぬき市総合計画の基本計画における目標指標の評価から見た課題をまとめる予定だ。現時点では項目数の記載程度だ。 本日の主な議題は基本構想のうち基本理念についてだ。基本理念は１案で提示されている。 基本理念はさぬき市市民憲章を踏まえて策定しており、抽象的にならざるを得ない面がある。「まもる・むすぶ・かがやく」をキーワードとした基本理念としている。 私が気にしている表現としては「人口や規模が減っても」がある。「人口が減る」はよいとして「人口規模」であれば「縮減」の方が適切ではないか。平易な表現を心がけているとは思うが、この点に

	ついて意見を求める。 基本理念は抽象的にならざるを得ないが、意見はあるか。
委員	30ページの基本目標の６項目は確定か。
会長	基本理念、将来像、そして６つの基本目標に展開する構造だが、６つの基本目標は変更可能か。
事務局	第２次総合計画の後期基本計画の流れを踏襲し「人」を守ることを軸に基本目標を設定しています。表現は一部異なりますが、後期基本計画の流れを受けて基本目標を設ける予定です。
委員	基本目標を見ると、前回は４項目だったが、今回は６項目となっている。 会長が冒頭で触れた人口減少を踏まえると「人口減少を覚悟する」のではなく、「人口減少対策」を明確な目標とすべきではないか。
副会長	その質問は、次の論点を検討した後にコメントいただく方が適切ではないか。
委員	了解した。
会長	基本理念は抽象的なものなので、この案でよいと考える。 将来像については、３案が作成されている。第１案が本命だと思う。第１案は、一番無難なバランス型だ。どこに重点を置くかは人それぞれだが、バランスを取るなら第１案だ。第２案は「変える」方向に比重を置いた案だ。案３案は、変化をより明確に打ち出した案だ。文章自体は変更可能だが、第１案で進めるか、変化に特化した他の案にするか意見を求めたい。 各案は印象が大きく異なる。将来像の案に応じては、第１案ならバランスよく、第３案なら後続も変わるため、基本目標の展開も変わるだろう。
副会長	会長は「一番無難」と表現されたが、私としては第１案の「変化を前向きにとらえる」という姿勢に共感している。 例として、24ページの主要な課題の中にある「安全・安心」を挙げると、人口減少や高齢化などの問題があっても、高校跡地の利用を考え、新しいものをつくるチャンスと捉えることができる。 高校跡地の利用の提案では、防災公園として多機能化（校舎を生かした交流スペース、ショップ、宿泊など）を構想し、要望として県に提出している。 同様に、24ページの「地域コミュニティ」における自治会解散等の課題も、「自治会を新しくするチャンス」と捉え直せる。

	自治会運営についても、高齢化や担い手不足をネガティブに捉えるのではなく、30～40代を自治会長にすることやＬＩＮＥとＡＩを活用した新しい運営を考える機会と捉えることができる。 「変化を前向きに」という表現は私の考えに近く、第１案に共感している。
会長	第１案にも積極性は十分見て取れ、第２案、第３案に劣るものではない。
委員	私は、10年～20年後を考えると、今後、地域コミュニティの整理だけで済むのか不安に思う。 私は、人口減少に対して何らかの施策を打たなければ、さぬき市は衰退する一方だと考える。 将来像には「人口を増やすような施策」を視野に入れたものにしてほしい。 「さぬき市から出て、帰ってくる」だけでなく「さぬき市の中で住みたい町をつくる」ことを施策に盛り込むべきだ。 財政運営に必要な財源の確保を図ることも重要だ。予算がない中で住みよいまちをつくるのは現実的ではないため、人口減少の対策を目標として掲げてほしい。 総合計画では「こういう町にしたい」を描くが、財政を考慮しないと将来像が見えてこない。
委員	私も委員の意見に同調する。 子育て世代の親として考えると、人口が増えなければ財政も潤わない。 24ページの主要課題では、子育て世代の課題が最初に挙がっており、子育て世代としても課題に感じている内容だった。 私は、将来像の中でインパクトが伝わるのは第３案だと考える。 審議会が目指す方向性を考えると、学校が減っている現状はつらく、他市の補助を見るとうらやましく思う。インパクトのある将来像を望む。
会長	第３案は分かりやすいが、限定が強すぎる印象を受ける。 人口減少が最大の課題であることに異論はないが、文章をこの流れでタイトルまで持ってくるとほかの課題が引っ込みすぎる懸念がある。 第３案の「住みたい、帰りたい、誇りに思える」というフレーズは使ってもよいが、タイトルに据えるかは検討が必要だ。 最大の問題だから、分かりやすく前面に出して欲しいというのは分かるが、住みやすさのほか、老老介護、限界集落、耕作放棄地などほかの課題もあるため、ある程度バランスが必要だ。 第２案は折衷案だが、中途半端に映る可能性がある。

	第１案のタイトルを使い、本文に「住みたい」の要素を盛り込む方向がよいのではないか。
委員	私は、第１案だと思う。 第３案の「人口減少を食い止める」という要素は、第１案にも組み込めると思う。 「変える力で飛躍する」ことが、人口減少の歯止め施策につながると捉える。 「変える」ことで「住みたい、帰りたい、誇りに思える」を担保する施策に結びつける構造にすることができる。
会長	第２案の支持者はいない。 第１案、第３案を支持する委員の意見は理解できる。 タイトルは重要であり、長々と書いたり異質なものを組み合わせたりするのはさすがに難しい。将来像のタイトルをどうするか。
委員	それであれば会長にお任せする。 基本目標が全ての指標になるため、そこに反映されればよい。
会長	将来像は象徴的な意味合いが強く、印象として大きく示される。基本目標も重要だが、将来像のタイトルについて、特段異論はないと思う。 「住みたいまちを目指す」ことを盛り込むことにも異論はないと考える。 第１案のタイトルを採用し、本文に「住みたいまち、帰りたいまち、誇りに思えるまち」という表現を組み込む方向でよいか。 確認だが、第１案のタイトルを使用し、本文に人口減少対策を大幅に盛り込むことでよいか。 次に基本目標については、先ほどの議論を踏まえると、人口減少対策が重要であるため、それが分かるように基本目標に盛り込んでほしいとの意見があった。 人口減少対策と財政運営の健全性の維持は表裏一体である。さぬき市のような人口規模では地方税のみでの運営は難しく、国からの交付（「仕送り」）に依存している。人口が減れば交付額も減少するため、人口減少対策と財政は密接に関連する。 現状の構成では、基本目標３が人口対策に関連するが「仕事」に焦点が当たっており分かりにくい。産業振興や観光などが含まれており「仕事があれば人が増える」ようにも読める。 一方で、子育て支援の充実が人口増につながる可能性もある。これらの要素をどう整理するか。 また、人口減少対策が複数の箇所に分散している点も整理が必要だ。 基本目標の項目数が多いとの指摘もあり、統合・整理の希望もある。 人口減少対策が分かりやすく示される目標とし、財政の健全化・維

	持も併せて盛り込んでほしい。 第３次さぬき市総合計画の構成は、第２次さぬき市総合計画を踏まえて、そのままでの移行や拡充ができるよう設計されている。なお、第２次さぬき市総合計画は出生数減少が顕在化する前に策定されたものだ。
委員	この基本目標の構成でよいと考える。 24ページの主要課題とよく一致している。
会長	基本目標６項目は、アンケート調査の分類に合わせてまとめたもの。 人口減少は誰もが課題と認識しているが、住民の回答は「子育て支援をしてほしい」など具体的な要望として出てくるため、背景にある人口減少問題は見えにくくなる。 結果として、子育て、移住定住、産業振興などが前面に出る構造になっている。
委員	目標は主要課題に対応し、中身の施策は吟味して盛り込めると理解している。
会長	基本目標は住民意向（アンケート）ベースで設定してもよいが、施策は背後にある人口減少に効果的に届くよう吟味する必要がある。
委員	評価指標を適切に設計し、しっかり洗い出せばよいと考える。
会長	そうでなければ施策の効果は出にくいとの指摘と理解する。 最終的には、人口が下げ止まるような施策を意識されると思う。 ６項目としたのは、優先順位の高いものから並べていると考えられ、偶然の一致ではない。 小規模施策も大規模施策も含まれることはやむを得ない。重要なテーマを盛り込むことは可能だ。
委員	基本目標２「安心して暮らせる」と基本目標４「安全・安心のまち」は内容が近いように感じる。
会長	委員の意図は、基本目標２が福祉系（「安心して」）基本目標４が防災系（「安全・安心」）であり、必ずしも分ける必要がないのではないか、という点と理解する。 福祉と防災の区別を示すために分けている可能性はあるが、防災関連の項目が４つと多い印象もある。 他委員の意見も求める。バランスとしてどう考えるか。新たな案も歓迎する。
（株）ぎょうせい	黒丸が４つとなっているのは、見た目をそろえるためと、要約して

担当者	文章化しているためです。 実際には施策段階でより詳細に展開されるため、現時点は例示の範囲です。
委員	最終版の分量ではないと理解した。長短の偏りがある点は意識してほしい。
（株）ぎょうせい担当者	現時点で細部まで記載されていない部分があります。
副会長	委員の指摘通り、基本目標２と４は誤解を招きやすい。 災害・防災では「安全・安心」をセットで使うことが多い。 福祉系で「安心」を使う場合は、表現を変更してはどうか。例えば、「住み慣れたまちで、心豊かに暮らせるまち」など、表現を吟味いただきたい。
会長	児童福祉の扱いはどうなっているか。
（株）ぎょうせい担当者	「子育て」としてトータルで１つにまとめています。
会長	基本目標２の「一般的なその他」（公的扶助・医療等）も基本目標２に含まれるのか。
（株）ぎょうせい担当者	高齢者、障害者、貧困世帯等も含まれます。
会長	基本目標２は、ボリュームがかなり大きくなる見込みか。
（株）ぎょうせい担当者	ボリューム感としては、基本目標１と２が多くなります。
会長	地域コミュニティの維持、インフラ・組織基盤の維持やソフト面は、基本目標４を想定している。 産業政策は基本目標３、環境・エネルギーは基本目標５、行財政運営・情報発信は基本目標６に想定している。
委員	少子化対策を基本目標として掲げる自治体はあるか。
（株）ぎょうせい担当者	少子化対策を基本目標の項目として掲げる例はほぼないと思います。 通常は将来像の考え方や、横断的な課題として扱うことが多いと思います。

会長	出生数の減少に重点が当たっているということだろう。 「高校卒業後の県外流出」と「出生数の減少」は切り分けることが可能だ。 子育て支援は「地元で子育てできる環境を整え、出生を増やす」という人口減少対策の一局面だ。若年層の流出を子育て支援だけで止められるだろうか。 高校生流出は、基本目標１（教育）で扱うのが自然ではないか。
事務局	35ページをご覧いただければと思います。ご覧いただいている基本目標の中には、人口減少対策を組み込んでいません。 前期基本計画では、さぬき市のまち・ひと・しごと創生総合戦略にあたる部分を重点プロジェクトとして掲げています。 総合戦略自体は、人口減少を前提とした地方創生の取組をまとめたものになります。人口減少を前提としてさぬき市に仕事を作る、人の流れをつくる、結婚、出産、子育ての希望をかなえる、安全・安心な魅力あふれる地域をつくる、といった総合戦略の４つの基本目標が混ざって申し訳ありませんが、重点プロジェクトとして入ってきます。 委員の懸念されている人口減少対策のことは、分野横断的に取り扱う形になります。
会長	第２次までの総合計画では、まち・ひと・しごと創生総合戦略が別途存在した。 これは安倍首相時代に策定されたもので「まちを維持するには人を維持し、人を維持するには仕事が必要」という考え方で始まった。 その後、総合戦略を独立で策定するのではなく、重点プロジェクトとして総合計画に組み込む方針となった。 総合戦略では最重点プロジェクトとして４つの基本目標がある。 流れとしては「仕事をつくる→人の流入→結婚・出産・子育て→地域の安定」という従来の総合戦略の考え方を、本計画で扱うことになる。 疑問点として、重点プロジェクトと本体の基本目標は重複しないか。
事務局	総合戦略の４つの目標は、総合計画の６つの基本目標のいずれかに位置づけられます。
会長	それらをまとめて「重点プロジェクト」として再掲する構造と理解してよいか。
（株）ぎょうせい担当者	施策体系を策定する際、重点プロジェクトに該当する箇所に印を付ける形でお示しします。

委員	双方とも「基本目標」と表記されており、変更するのかと誤解した。
会長	総合戦略側も「基本目標」と記載され、その下の重点プロジェクトも同様の用語で４つ載っているため、同一のものに見えてしまう。
委員	現在進められている内容を一度見直し、６項目に変更するのかと感じた。
（株）ぎょうせい担当者	「プロジェクト１」「プロジェクト２」などの表記に変更し、分かりやすくします。
会長	重点プロジェクトは再掲という形であることは理解した。総合計画に分割して記載される構造だろうか。 重点プロジェクトの４つは有効と認識した。ちなみに、まち・ひと・しごと総合戦略もこの４つだったか。
（株）ぎょうせい担当者	そのとおりです。
会長	重点プロジェクトは基本目標にスライドする構造ということだ。 人口減少に関心がある人は重点プロジェクトを中心に閲覧すると想定される。 人口減少対策が一覧で把握できる構造ではないため、閲覧ページによって受け取り方が異なる可能性があるので、統合する構造にしたということだ。 ６つの基本目標はアンケートベースでまとめられており、人口減少対策については重点プロジェクトを参照してほしいという位置付けだ。 この６項目でよいか。ただし、実際の文章を詰めるまで文章量は分からない。基本目標５は文章量が少なくなる可能性がある。 第４章34ページのとおり、改定時期の都合で将来人口推計の最新版が入手できない。 最新版の将来推計が出る可能性が高いのは再来年。今年はまず出ない。もし最新版の将来推計が衝撃的な人口減少であれば、計画の見直しの際に使って欲しい。 残念だが今回は使用できないため、前回推計を使用させてほしい。 34ページの青線は大きく下振れしており、2025年で約1,200人の下振れ。本市の将来展望としても厳しいが、この推計を使用することでよいか。 重点プロジェクトへの再分類は最終作業か、逐次マークしていくのか。
事務局	第３回の会議の時に施策体系を示し、その中で重点プロジェクトに

	該当する箇所が分かるようお示しします。
会長	次回では不明確な点は残らないということで理解した。 次回は目標値までは入らず、施策内容を記載する素案となるのか。
事務局	次回の素案は完成形に近い形になります。
会長	数値目標まで含まれることで理解した。 総合計画は慣れた人には分かるが、一般の人には分かりにくい。一般人にも理解できるよう、どの程度まで平易にするか。 概要版を別途作成するか、Ｗｅｂ版のみ概要版とする例もある。このことを含め書式や分かりやすさの方向性について意見を求めるが、この点は次回に回してよいか。 38ページの主要施策については、具体例がないと分かりにくいため、例示をお願いする。これで骨子案に関する審議は終了する。
委員	流れとして、上位に基本構想があり、それをベースに前期基本計画を策定する。前期基本計画は、まち・ひと・しごと総合戦略を交えた内容と理解してよいか。
事務局	そのとおりです。
会長	前期基本計画は５年間。全体で10年間の計画となる。
委員	令和８年６月15日に送付された前回議事録の８ページに、自分の名前が記載されている。私は委員の名前を記載してもよいと考える。
会長	内部資料としては記名式が残っている可能性がある。公表時は匿名化している。 匿名化の要否については、同意が取れれば問題ないと考える。
委員	突然名前が記載されており、公表でも名前を出してよいのではないか。
会長	ほかの審議会との整合性もある。事務方のミスで名前が入った可能性もある。 確認だが公表版に名前は入っていたか。
事務局	公表版には入っておらず、委員にお配りした議事録に委員の名前が載っていました。
委員	本来であれば差し替え対応となる。

会長	正確なものを再送付するのが筋だ。 公表版は匿名化が基本だが、委員への配布版は確認のために記名を残すことも理解できる。
委員	団体の責任者として参加しているため、名前を出してもよいと考える。整理をお願いする。
会長	公表を望まない人もいる一方、名前がないと発言確認がしづらいという意見もある。 これらを踏まえてご検討いただきたい。修正版の送付をお願いする。 議題３「第２次総合計画後期基本計画の実施と第３次総合計画に向けての課題について」は、時間が押しているため簡便にお願いする。
（株）ぎょうせい担当者	＜資料４、５説明＞
会長	前期の振り返りについては、26ページの記載のとおり、資料４・５を参照してほしい。これで議事は終了する。事務連絡はあるか。
事務局	次回、第３回審議会は、11月17日（火）14時～３０２会議室になります。
会長	閉会（16：00）